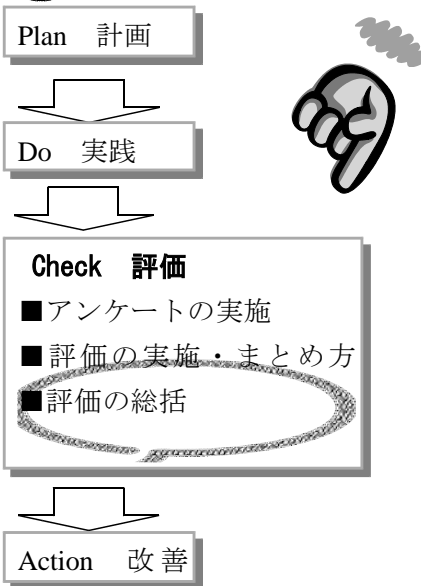


自己評価 ~ Check 評価の総括の方法 (1) ~



資料① 第1回学校評価職員用アンケート集計結果 (B中学校)

A: 4 : 大変当てはまる (80%以上) B: 3 : だいたい当てはまる (60 ~ 80%)
 C: 2 : あまり当てはまらない (40 ~ 60%) D: 1 : 全然当てはまらない (40%未満)

教育方針	評価項目	A	B	C	D	平均値	提出数
心の教育の推進	1 生徒の主体性を生かした行事運営が体育祭(文化祭)等ができています。	8	13	0	0	3.38	21
	2 学校は、生徒にあいさつや身だしなみ指導をきちんと指導している。	9	13	0	0	3.41	22
	3 教科で道徳的心情の育成を意識した学習材・学習活動等を授業に取り入れている。	2	15	4	0	2.90	21
	4 道徳の授業について、毎月の学年会で協議している。	2	12	6	2	2.64	22
	5 読書月間を設けて、読書活動の推進に努めている。	10	9	1	0	3.45	20
基礎	6 学習ルールや授業態度について、よく指導ができています。	6	16	0	0	3.27	22
教基本の推進	7 授業参観、研究授業等の授業評価を生かして授業改善に取り組んでいる。	8	13	1	0	3.32	22
	8 テスト前や夏休み等に、補充学習の場を設けている。	16	4	2	0	3.64	22
	9 学習環境(背面黒板・掲示物等)の整備に積極的に取り組んでいる。	13	8	1	0	3.55	22
	10 20分×学年以上の家庭学習のきっかけ作りを授業で行っている。	3	11	6	1	2.76	21

資料② 第1回生徒アンケート

● 基本的な生活習慣・家庭学習の習慣化・補充学習の場と機会

観 点	項 目	1 年				2 年				3 年						
		A	B	C	D	無	A	B	C	D	無	A	B	C	D	無
基本的な生活習慣	自分は「おはよう」「こんにちは」「さようなら」の挨拶をしている	28	23	5	1	0	19	30	6	0	0	41	10	3	1	0
	自分は服装・頭髪等の身だしなみのルールをきちんと守っている	20	31	5	1	0	31	21	1	2	0	34	17	4	0	0
家庭学習の習慣化	自分は20分×学年以上の家庭学習を毎日おこなっている	9	18	20	10	0	3	10	18	24	0	2	13	20	20	0
補充学習の場と機会	自分はテスト前の学習会等に意欲的に参加した	17	20	18	2	0	3	12	22	17	1	17	16	15	7	0

● 国語

学習意欲・態度	自分は私語を慎み、先生の話をしっかり聞いている	13	27	15	2	0	21	31	3	0	0	25	19	10	1	0
	きちんとノートをとったり、出された課題をきちんと取り組んでいる	19	23	12	3	0	16	25	11	3	0	24	22	8	1	0
	忘れ物をしたり、提出物や宿題を忘れないよう十分気をつけている	20	17	16	4	0	11	26	14	3	1	21	24	8	2	0

資料③ 第1回公開授業観察記録保護者集計結果 (4月14日)

※ 各学年の評価は平均点 (4点満点)

観 察 視 点	1 年評価	2 年評価	3 年評価
1 授業準備は良かったか (教室環境)	3.65	3.62	3.4
2 授業内容は生徒に伝わっていたか (指導方法)	3.52	3.43	3.4
3 個々への指導はできているか (個別指導)	3.25	3.38	3.2
4 話し合いのさせ方・発表のさせ方は良かったか (生徒への指示・時間設定など)	3.52	3.31	3.4
5 板書は分かりやすかったか (学習目標・授業に役立つ内容など)	3.43	3.43	3.4
6 生徒は学習に意欲的だったか (生徒の学習意欲・学習態度)	3.57	3.25	3.2

1年コメント * 各コメントの番号は、上記の観察視点の番号です。

- 1 掲示物等が見やすく、子どもの様子がよく分かった。
- 2 事前準備がされているようだったが、生徒がその内容を理解しきれていない様子だった。
- 4 「あと〇〇分でまとめて下さい。」と時間を設定したことで、集中して考えられて良かった。

数値測定の自己評価 (中間評価シートの作成)

学校経営計画(自己評価シート)中間評価 (資料①教職員②生徒③保護者から数値基準で作成)

領 域	重点目標	具体的方策	評価指標及び評価規準
心の教育の推進	基本的な生活習慣の確立	生徒の主体性を生かした行事運営	④ 行事毎に反省をして、80%以上の教職員が評価した。
			3 行事毎に反省をして、60%以上の教職員が評価した。
			2 行事毎に反省をして、40%以上の教職員が評価した。
			1 生徒の主体性を生かした行事運営と評価した教職員が40%未満だった。

自己評価 ～ Check 評価の総括の方法（2）～

Plan 計画

Do 実践

Check 評価

- アンケートの実施
- 評価の実施
- 評価の総括

Action 改善



教職員・保護者・生徒のアンケート結果の比較（A中学校）

教育活動に関すること

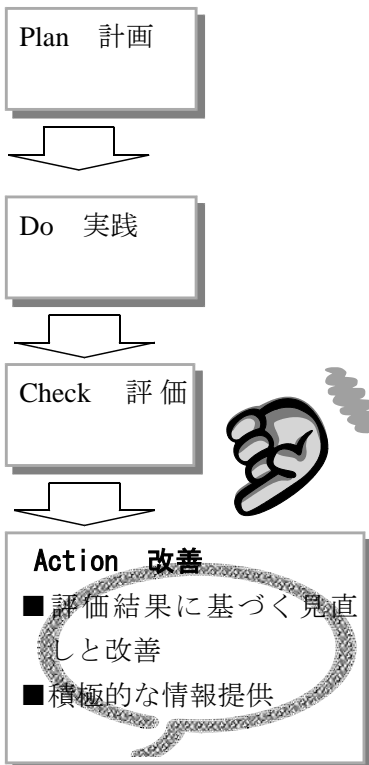
教育目標	学校経営方針	点検内容	生徒	保護者	職員	平均
向学 学習の意欲をもとう	自ら学び 自ら考える力を育てる	1 学校は、授業が楽しくわかりやすく、自ら学ぶおもしろさのもてる授業への取り組みを図っている。	3.0	3.3	4.3	3.5
		2 学校は、発言や発表ができる授業の進め方であり生徒の質問に丁寧に答えている。	2.9	3.6	3.9	3.4
		3 先生は、基礎基本となる学力が身に付くように、教材や教え方に、様々な工夫をしている。	3.3	3.5	4.0	3.6
		4 学校は、総合的な学習の時間を通じて、自分で学び考える等の生きる力が付くように取り組んでいる。	3.0	3.6	3.4	3.3
敬愛 思いやりの心をもとう	豊かな心を育てる	5 先生は、悩みや相談事を話しやすい雰囲気だし、よく相談に乗ってくれる。	2.7	3.7	4.0	3.5
		6 学校は、人に接するときの言葉や態度・思いやりの心をもつように指導している。	3.5	3.6	4.1	3.7
		7 先生は、どの生徒にも分け隔てなく、公平に接している。	2.8	3.5	4.3	3.5
		8 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組み、人権を尊重した教育活動を実践している。	3.1	3.1	4.1	3.4
忍耐 苦しさにも耐える心をもとう	ねばり強く 取り組む 忍耐力を培う	9 学校で、生命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会を設けている。	3.2	3.7	3.9	3.6
		10 学校は、人の意見や発表をよく聞き、自分の考えと違っていても尊重するように指導している。	3.3	3.5	4.0	3.6
		11 学校は、学級活動や生徒会活動に進んで参加したり、責任を持って取り組む指導をしている。	3.1	3.9	3.9	3.6
		12 学校は、何事にもあきらめずに、粘り強く取り組むように指導している。	3.5	3.5	3.7	3.6
健康 丈夫な体に鍛えよう	健やかで丈夫な体に鍛える	13 学校は、自分で健康状態を意識したり管理できるように健康教育をしている。	3.4	3.7	3.6	3.6
		14 学校は、体力の向上に関心を持ち身に付くように指導している。	3.6	3.7	3.6	3.6
		15 学校は、生活習慣を振り返り、早寝、早起きなどの良い習慣が身に付くようにしている。	2.6	3.6	3.7	3.3
		16 学校は、自分の健康状態について、保護者と連携をとりあっている。	2.9	3.6	4.1	3.5
魅力ある学校	開かれた学校づくり	17 お子さんにとって、学校生活は楽しく充実している。	3.9	4.1	3.9	4.0
		18 学校は、保護者や地域の人が、学校に来る機会を多く設けている。	2.7	4.1	4.9	3.9
		19 学校は、隣の小学校や高校と交流する機会を多く設けていると思う。	2.0	3.2	3.4	2.9
		20 学校は、保護者や地域の人が学校の行事に参加をする機会を多く設けている。	2.8	4.1	3.9	3.6

教職員は人権を尊重した教育実践を行っている評価であるが、生徒には相談しやすい雰囲気欠けるという結果である。そこから、来年度は相談の時期と環境作りに改善策を求めている。

平均値から自己評価の評定を決定する。

— 平均以上 — やや平均以上 ---- やや平均以下 -/-/- 平均以下

自己評価～CheckからActionへの連動 元気の出る学校づくりに向けて～



C小学校の来年度への生かし方

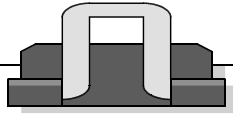
- ・「攻めの学校評価」がキーワード。学校関係者評価委員会にて検討し、学校の取組を具体的にアンケートに記述する。学校の熱意を伝えるアンケートの内容で、保護者の前向きな建設的な意見を聞くことができています。このことが、児童理解につながり、教職員の力にもなっている。
- ・学校関係者評価委員会での評価も、会を重ねる毎に地域の方に支えられていることを実感できる評価をいただくようになった。機会ある毎に短時間でも学校に足を運んでくれる地域の方が増えてきた。
- ・アンケート項目を三者（教職員・児童・保護者）統一していることから、結果を分析することが容易になった。また、学校側と保護者側の数値の違いが認められる場合は、学校便りホームページ等を活用し、これまで以上に取組のようすを伝えていくようにしている。
- ・児童へのアンケート項目で一番評価の低かった部分を来年度の研究内容に組み込んでいく。

B中学校の来年度への生かし方

- ・保護者・生徒の評価から「家庭学習の定着」に着目し、テスト前の補講に取り組む。その結果、生徒の学びの喜びのポイントや保護者の学校への信頼のポイントも双方が翌年には伸びており、教職員の励みとなっている。
- ・授業参観を公開制にすることで、教科枠を越えて授業を見る目が鍛えられ、授業改善につながっている。記述式で互いの授業の良かった点や改善点などを挙げることで、ごく自然に日常的に授業改善への取組がされるようになった。
- ・取組内容や評価結果を常に公表することで、保護者・地域住民・教職員との新たな関係作りができるようになってきた。学校教育推進会議の場でも、「学校がどんな学校像を持ち、どんな子どもたちを育てたいのが良く伝わり、信頼できる学校になっている」という声があがっている。学校経営に生かせる本音で語り合える場作りができるようになった。



～ 学校関係者評価 ～

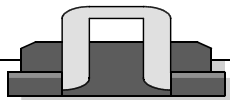


小学校の例



構成メンバー	専属講師（大学教授） 地域学識経験者2名 ☆地域代表（町会長・子ども会会長） ☆保護者代表（PTA会長・副会長） 研究連携校（近隣小学校 教務主任） ☆学校職員（校長・教頭・学校評価担当職員・視聴覚担当職員）	
	7月	学校関係者評価委員会立ち上げ 学校評価についての学習会 学校教育目標・重点目標等の説明 専属講師による学習会
	9月	授業参観、交流給食 アンケートの考察（学校教育推進会終了後開催）
	11月	授業参観、交流給食 アンケートの考察
内容と開催時期	2月	授業参観、交流給食 自己評価書の考察

※ 学校教育推進委員と一部重複（☆）

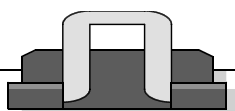


小学校の例



構成メンバー	地域代表（町会長2名・主任児童委員） 保護者代表（PTA会長・副会長・会計・書記） 学校職員（校長・教頭・教務主任・事務主査・学校評価担当職員）	
	6月	学校関係者評価委員会立ち上げ 前期学校評価アンケート項目の検討 （学校教育推進会議を兼ねる）
	7月	前期自己評価アンケートの項目検討
	10月	前期自己評価結果を学校側から説明 自己評価結果をもとに評価
	11月	後期アンケート項目の検討・確認
内容と開催時期	3月	後期自己評価結果を学校側から説明 自己評価結果をもとに評価 （学校教育推進会議を兼ねる）

※ 学校教育推進会議委員と全員重複している。

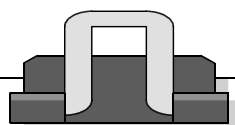


中学校の例



構成メンバー	近隣学校職員（高校・小学校・特別支援学校 各学校長）	
	地域代表（元PTA会長・スポーツクラブ会長・民生委員） 地区主任児童委員2名）	
	保護者代表（PTA会長・副会長）	
	学校職員（校長・教頭・教務主任・生徒指導担当職員）	
内容と開催時期	6月	学校関係者評価委員会立ち上げ 前期学校評価アンケート項目の検討 （学校教育推進会議を兼ねる）
	7月	前期学校評価アンケートへの回答、学校視察
	10月	前期自己評価結果を学校側から説明 評価結果をもとに評価
	11月	後期アンケート項目の検討・確認
	2月	後期自己評価結果を学校側から説明 評価結果をもとに評価 （学校教育推進会議を兼ねる）

※ 学校教育推進会議委員と全員重複している。



特別支援学校の例



構成メンバー	☆生徒進学・就労先代表2名	
	☆地域代表（近隣小学校、中学校 校長・PTA会長・副会長・自治会長）	
	☆学校職員（校長・教頭2名・教務主任）	
	☆学識経験者（大学准教授・講師2名）	
内容と開催時期	5月	学校関係者評価委員会立ち上げ・学校評価についての説明 第1回学校関係者評価委員会開催・学校経営計画の説明
	6月	アンケート項目の検討作成
	10月	「学校へ行こう週間」授業参観アンケートの実施 第2回学校関係者評価委員会開催・アンケート結果をうけて意見交換
	1月	第3回学校関係者評価委員会開催・自己評価結果をもとに評価 20年度に向けて学校運営の改善策

※ 学校教育推進委員と一部重複（☆）